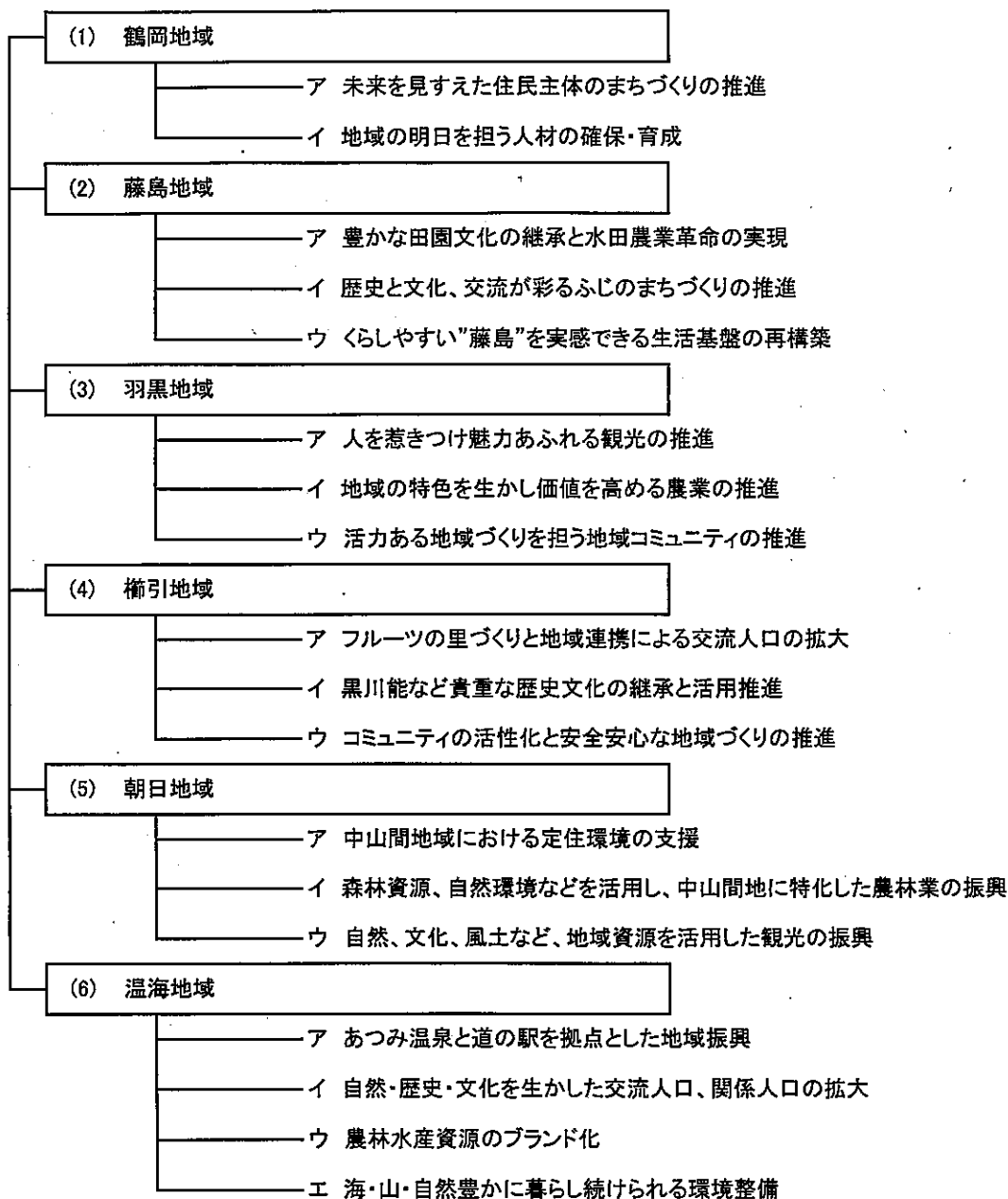


鶴岡市第2次総合計画(前期計画) 第7章 地域の振興 (4) 櫛引地域 (現行)

7 地域の振興

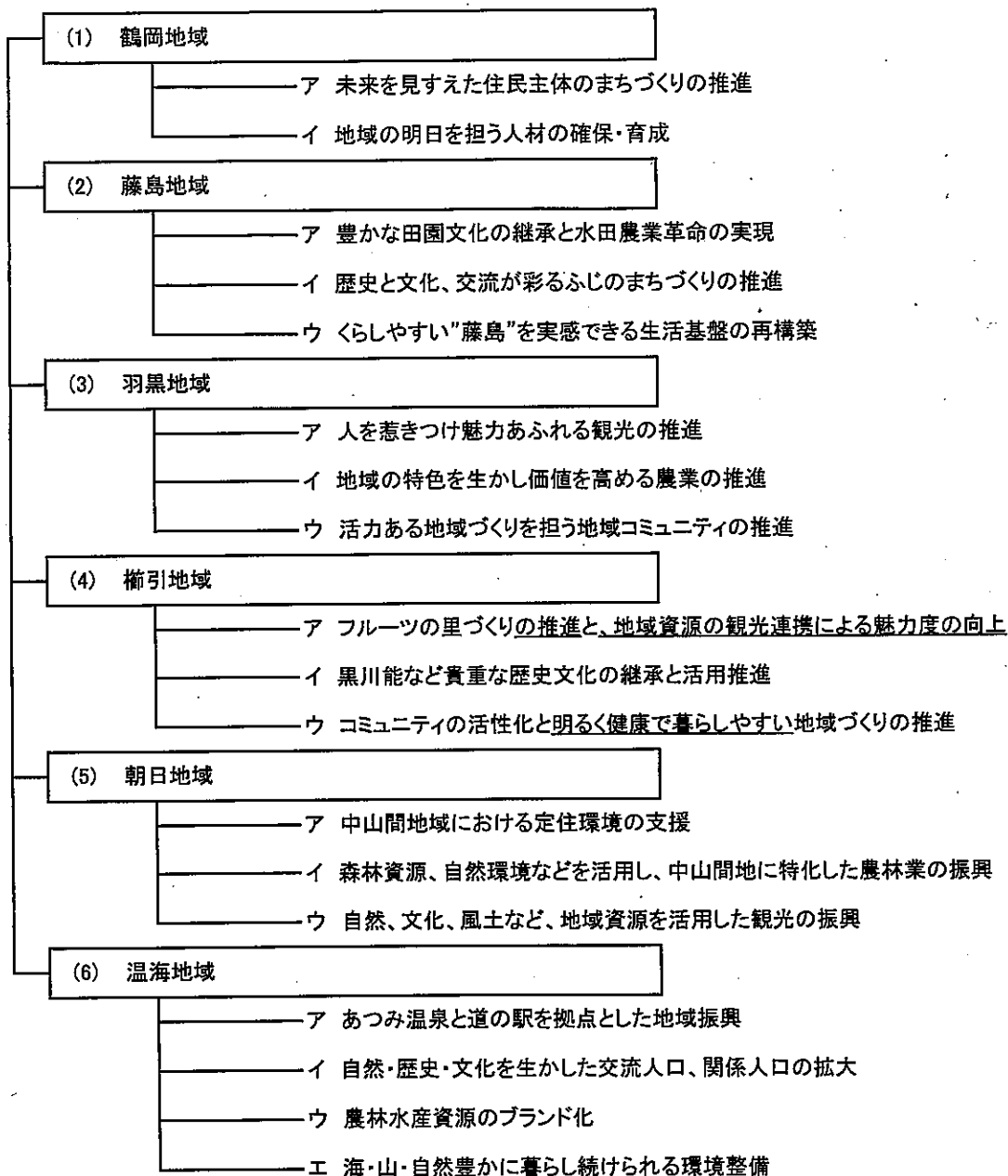
各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います



鶴岡市第2次総合計画(後期計画) 第7章 地域の振興 (4) 櫛引地域 (案)

7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います



(4) 櫛引地域

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地などの豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引の果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの先進的な取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化と果樹を中心とした産業振興の拠点づくりを進めます。また、農業体験や自然体験の環境整備を進めることで都市部との交流人口の拡大を図り、地域を越えて連携する広域の観光周遊の仕組みづくりに取り組みます。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能の保存と継承を支援し、あわせて観光資源としての活用を図ります。また、赤川周辺の施設や自然、芸術作品などを活用した憩いと賑わいの拠点づくりを進め、地域の活性化につなげます。

少子化や高齢化、人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

ア フルーツの里づくりと地域連携による交流人口の拡大

○施策の方向

櫛引地域の農業の強みである少量多品目の特性を生かした果樹のブランド化により付加価値を高め、継続的で経営力のある産地形成をめざすとともに豊かな農業と自然を生かした都市農村交流を進め、交流人口の拡大を図ります。羽黒山や湯殿山などに代表される鶴岡の大きな観光資源を核にしながら、それぞれの特色を生かし地域を越えて連携する広域観光圏の形成を推進します。

○主な施策

- ① 産直あぐり周辺を「フルーツランド(仮称)」として拡張整備を進め、ここを拠点に果樹園地の流動化の促進や果樹栽培経営体の法人化などの支援、ICTを活用した効率的な生産体制の強化を図るとともに、各種助成事業を積極的に活用することで、果樹生産基盤の整備推進に取り組みます。
- ② 庄内地域で随一の多品目生産の果樹産地として、限られた樹園地面積の中で、遊休農地の流動化と持続可能な園地循環の仕組みを構築し、ブランド戦略により付加価値の高い6次産業化商品の開発と首都圏への販売ルートの一環システムを確立し、果樹産地としての「フルーツの里くしびき」のブランド化を図ります。
- ③ 観光果樹園や農家民宿、飲食店などの経営の安定化や観光施設としての資質向

(現行)

上、新たな開設などを支援し、農業体験型観光の拡大充実と果樹を資源とした観光ネットワークを展開します。

- ④ 首都圏の修学旅行や農業体験受け入れの体制強化を進めるとともに、これらの交流関係を持続的なものとする空き家を活用した交流ゲストハウスの開設に取り組みます。また、たらのきだ이스キー場の通年型自然体験施設の取組と宝谷の自然を生かした農業自然体験空間と事業の充実を図ります。
- ⑤ 南部広域拠点(櫛引、朝日、黄金)が連携する観光商品の開発や滞在型、着地型観光の情報発信と、地域デマンド交通と一体となった地域主体型の観光二次交通システムの構築を支援し、羽黒山などからの観光客の周遊を促す広域観光圏の形成を推進します。
- ⑥ 域内交通の利便性向上や観光振興に資する広域幹線道路について、周辺地域と連携し早期着工を関係機関に要望していきます。

イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

○施策の方向

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用し慣れ親しむ場を積極的に提供することで、保存伝承活動への理解促進と地域の活性化を図ります。

○主な施策

- ① 黒川能保存伝承研究会*などの開催と、映像や音源の記録保存による伝承支援、また、能楽愛好者などの稽古や合宿誘致による黒川能ファンの獲得と、情報発信を推進します。
- ② 天狗舞獅子舞などの民族芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、民俗芸能の継承活動を支援します。
- ③ 丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を関係団体と一緒に進め、地域の歴史文化の理解促進と地域の活性化を図ります。

※黒川能保存伝承研究会

識見者による黒川能の歴史や行事食の可能性などを学習する機会とし、理解を深める取り組みを広げ、具体的な活性化の実践につなげることを目的とする、公益財団法人黒川能保存会主催事業。

ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

○施策の方向

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成や集落自治体制を補完する広域コミュニティの設置検討や集落の連携など

(現行)

の新たな仕組みづくりを支援します。また、健康維持のための拠点づくりや新たな地域公共交通の構築など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図るとともに、地域資源を生かした元気なまちづくりを推進します。

○主な施策

- ① 地域コミュニティ活性化推進のための集落支援体制の強化や櫛引生涯学習センターを拠点とした生涯学習の推進、また、ケーブルテレビを活用した情報発信と地域づくりの推進など、活力と持続性のあるコミュニティづくりを進めます。
- ② 将来の地域づくりのリーダーを育成する取組や鶴岡まちづくり塾によるイベントを支援し、協働のまちづくりと地域のにぎわい創出に取り組みます。
- ③ 新たな地域公共交通の構築を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を推進します。
- ④ 住民同士の語らいや交流活動、創作(ものづくり)活動、文化活動、レクリエーション活動の取組を促す事業を実施することで、健康で生きがいのあるコミュニティづくりを推進します。
- ⑤ 赤川河畔エリア(櫛引総合運動公園、桜並木)、くしびき温泉ゆ〜Town、櫛引パーキングエリア地域拠点施設、生き生きべんとう村及び彫刻家富樫実氏の「空にかける階段」の作品群などの地域資源を効果的に活用し、魅力と賑わいある地域づくりを推進します。

(4) 櫛引地域

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引地域における果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。また、農業体験など体験型観光の環境を整備し、都市部との交流人口の拡大を図るとともに、様々な地域資源を活かしながら、周辺地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

ア フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

○施策の方向

櫛引地域の果樹生産の強みである多品目生産の特性を生かしたブランド化により、持続可能で経営力のある産地形成を目指すとともに、農業体験など体験型観光を推進し都市部との交流人口の拡大を図ります。また、出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、近隣地域との連携による広域観光圏の形成を推進していきます。

○主な施策

- ① 担い手の育成や農業経営体の組織化、農業者の意向の把握など、円滑な園地継承の仕組みを構築するとともに、各種助成事業を積極的に活用し、施設の整備やスマート農業技術の導入など、果樹生産基盤の整備を促進します。
- ② 庄内地方で随一の多品目生産の果樹産地として、地域の持つ特徴を積極的にPRするとともに、付加価値を高め6次産業化を推進し「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。
- ③ 観光果樹園や農家民宿、櫛引たらのきだいたいスキー場、ふるさとむら宝谷など、地域の施設を最大限に活用し、体験型観光等による都市部との交流人口の拡大を図ります。
- ④ 出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、櫛引、朝日及び黄金地域一帯を鶴岡南部エリアと位置づけ、観光関係者相互の連携強化を

(案)

促進します。また、それぞれが持つ地域資源の魅力度を高め、観光周遊ルートの形成や観光商品の開発、四季に応じた情報発信、デジタル技術の活用など、観光PRを強化し、インバウンドを含め観光客の増加に繋がります。

イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

○施策の方向

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

○主な施策

- ① 黒川能保存伝承研究会*などの開催により黒川能の魅力を伝え、映像や音源の保存記録を活用した伝承支援や後継者育成支援を継続するとともに、文化的価値の情報発信を推進します。
また、天狗舞獅子舞などの民俗芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、民俗芸能の継承活動を支援します。
- ② 丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を、指定管理者やガイドの会など関係団体と一緒に進めるとともに、デジタル技術等を活用した地域の歴史文化の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

※黒川能保存伝承研究会

識見者による黒川能の歴史や行事食の可能性などを学習する機会とし、理解を深める取り組みを広げ、具体的な活性化の実践につなげることを目的とする、公益財団法人黒川能保存会主催事業。

ウ コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

○施策の方向

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティの設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、明るく元気なまちづくりを推進します。

○主な施策

- ① 地域コミュニティ活性化推進のための広域コミュニティの設置検討や、防災連携、生涯学習の推進を図り、また、ケーブルテレビを活用した情報発信と地域づくりの推進など、活力と持続性のあるコミュニティづくりを進めます。
- ② 花いっぱい運動やくしびきこしゃってプロジェクトなど、若者や地域住民によ

(案)

る取組みを支援し、協働のまちづくりと地域のにぎわい創出を促進します。

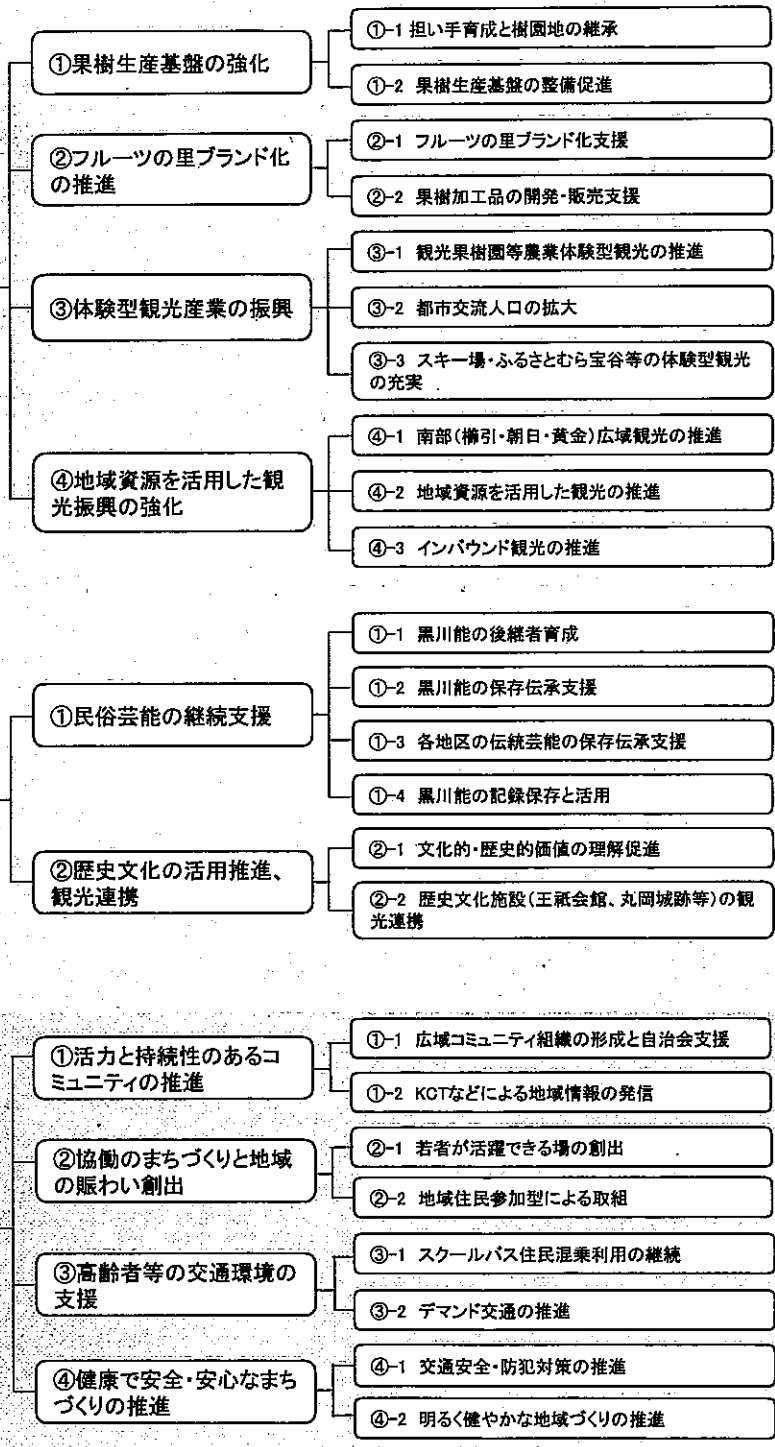
- ③ スクールバス住民混乗利用を継続するとともに、現在実証実験事業として実施しているデマンド交通の確立を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を推進します。
- ④ 交通安全対策や防犯活動を推進するとともに、幼少期の教育支援や、くしびき温泉ゆ〜Townを核とした健康増進、住民同士の語らいや交流活動の取組を促進することで、明るく健康で生きがいのある地域づくりを推進します。



ア フルーツの里づくりの推進と地域資源の観光連携による魅力度の向上

イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

ウ コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進



(素案)

櫛引|地域振興計画

(2024～2028 年度)



写真



令和6年3月
鶴岡市櫛引庁舎

目 次

1. 計画策定の趣旨
2. 櫛引地域の特性・概要
3. 市民との対話や社会情勢等の変化から得られた課題
 - (1) 現計画の取組にかかる整理と検証
 - (2) 市民との対話等から得られた課題
4. 櫛引地域の目指す方向性
5. 施策の基本方針と主な施策
 - 基本方針1 フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上
 - 主な施策 (1) 果樹生産基盤の強化
 - 主な施策 (2) フルーツの里ブランド化の推進
 - 主な施策 (3) 体験型観光産業の振興
 - 主な施策 (4) 地域資源を活用した観光振興の強化
 - 基本方針2 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進
 - 主な施策 (1) 民俗芸能の継続支援
 - 主な施策 (2) 歴史文化の活用推進、観光連携
 - 基本方針3 コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進
 - 主な施策 (1) 活力と持続性のあるコミュニティの推進
 - 主な施策 (2) 協働のまちづくりと地域の賑わい創出
 - 主な施策 (3) 高齢者等の交通環境の支援
 - 主な施策 (4) 健康で安全・安心なまちづくりの推進

[参考資料]

各地域統計データ

1. 計画策定の趣旨

鶴岡市は、市町村合併した3年後の2008(平成20)年度に、各地域で築かれてきた地域特性や固有の資源を生かしたまちづくりを進めるため、中長期の振興方針「地域振興ビジョン」を策定しました。また、2013(平成25)年度には、鶴岡市総合計画の基本構想や後期基本計画を踏まえた「地域振興計画」を策定、2018(平成30)年度には地域振興計画を刷新し、地域まちづくり未来計画(事業)をスタートしました。

櫛引地域では、「フルーツタウン・黒川能の里くしびき」を中心にした施策、また地域特性に合った農業振興、農業体験等による都市農村交流など各種プロジェクトに取り組んできたところです。これまでの取組については地域振興に一定の役割を果たしてきたと考えますが、改めて地域の抱える課題を整理し対応する必要があります。

令和2年以来流行している新型コロナウイルス感染症により、人流が抑制され、観光客の減少や、行事・事業・イベントが開催できないなど、産業から教育、コミュニティ活動等すべてにおいて大きな影響がありました。この間、従来の行動や生活、行事等に対する考え方の変容、人口減少や担い手不足のさらなる進行が見られました。一方でオンラインによる仕事や交流をはじめ、デジタル化の進展により新たな生活様式が可能となる時代に突入しつつあります。

これらの情勢に対し、第二次鶴岡市総合計画の見直し(後期基本計画の策定)に合わせて、櫛引地域振興計画も見直(更新)すこととしました。計画期間は2024(令和6)年度から2028(令和10)年度までの5年間です。

今回更新した櫛引地域振興計画では、「フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上」、「黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進」、「コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進」の3つの基本方針を柱に掲げ、人口減少時代を見据えた持続可能な地域を目指し活力のあるまちづくりを推進していきます。

2. 櫛引地域の特性・概要

櫛引地域は、総面積80.18km²、東西に19km、南北に16km、西北部に放射状に広がる地形で、中山間地域も含め櫛引庁舎からいずれの集落にも車でおおよそ10分以内で行ける、コンパクトな地勢となっています。

地域の主要な産業である農業では、水稻に加えて果樹や園芸作物、農産加工品などを組み合わせた複合農業を推進してきた伝統を有し、なかでも果樹生産においては、四季を通して多くの種類が生産され、庄内地域では随一の多品目栽培地域となっています。一方、工業振興では、昭和40年代後半から地域に3つの工業団地を造成して企業誘致を積極的に推進し、雇用の場創出と併せ農工一体の地域づくりを推進してきました。

また、昭和60年代からは国道112号沿いを中心に行政による住宅用地225区画の造成

分譲を行ったほか、民間企業による造成分譲も引き続き行われており、櫛引地域への定住促進に一定の役割を果たしてきました。

地域の文化的特徴としては、黒川能に代表されるように貴重な伝統芸能や伝統行事が各集落に伝承されています。関連施設である黒川能の里王祇会館や丸岡城跡・加藤清正墓碑、横綱柏戸記念館等は、地域の観光スポットとしての役割を果たしてきており、くしびき温泉ゆ〜Townや櫛引総合運動公園、やすらぎ公園の桜並木、たらのきだ이스キー場、ふるさとむら宝谷、地元出身の彫刻家富樫実氏による「空にかける階段」のアートモニュメントなど、他に誇れる地域資源が多く存在しています。

3. 市民との対話や社会情勢等の変化から得られた課題

(1) 前計画の取組にかかる整理と検証

前計画の5年間で特に力を入れてきたものとして、「フルーツの里づくり」においては、SNSでの情報発信や、フルーツフェアの開催、加工品開発等に取り組み、地域のフルーツをPRし消費拡大に繋げることができました。また、「歴史文化の継承と活用推進」においては、アナログ記録のアーカイブ化、英訳パンフレットの作成などを実施し、インバウンドも含め今後の観光や、保存伝承、教育等、今後活かせる「形」として残すことができました。加えて、新たな公共交通の実証実験、健康増進施設として再出発したくしびき温泉「ゆ〜Town」の利活用などにも取り組んできました。

一方で新型コロナウイルス感染症流行の影響等もあり、担い手の発掘や取組が進まなかったこと、実現が困難になってきた施策もあり、当面はコロナ禍からの回復に努め、今後は、取り組んできた施策のブラッシュアップ、人口減少時代に見合った事業展開、優先度を考慮した施策展開が必要であると考えています。

(2) 市民との対話などから得られた課題

少子化は今に始まったものではなく50年以上前から始まっており、子どもを産み育てる若者世代の都市部への流出、農家所得の低迷による就業構造の変化、個の尊重や晩婚化に加え、生活様式・働き方の多様化、コミュニティの希薄化、世代間ギャップなど、人口減少や核家族化、後継者不足を進行させる要素が増えているのは、鶴岡、櫛引に限らず、全国的な地方の抱える課題であります。さらに都市部においても人口減少が始まってきました。

これらを起因とする、農業を含めた産業全般、コミュニティ役員や伝統芸能等の担い手・人手不足、各種団体における構成員の減少と活動低迷、地域行事への参加者の減少、そして空き家問題など、以前から言われ続けてきたことも含まれますが、さらに急速的に進み、潜在化から顕在化し、看過できない状況になりつつあると捉えられます。加えて、物価高騰等による家計への影響、農業を含め産業の維持も厳しさを増しています。また、異常気象を要因とする自然災害の頻発化・激甚化による防災意識の高まりへの対応や、活かされてない地域資源の魅力的な事業展開及び体験メニュー・商品等の開発、情報発信の強化、広域的な観光連携などの取組が必要であります。

特に、高齢者については、情報化社会への漫然とした不安を抱えており、より分かり易く丁寧な対応が求められています。また、コロナ禍で停滞した高齢者同士の交流の回復に向け、活動の内容や形態など、地域の要望や時代の変化を反映した活力向上に繋がるような支援や、フレイル予防対策として社会参加なども含めた、よりトータル的で幅広い健康増進への取り組みが望まれています。

今後は、人口減少時代を見据え、限られた財源の中で、デジタル技術を取り入れながらコンパクトで持続可能な地域社会を維持していくことを第一に、SDGz未来都市の実現(※1)を目指し、担い手の育成・確保や市民協働による共助・協力体制の構築、フレイル予防等の健康増進、また、意欲のある市民や事業者、団体への各種支援など真に必要な施策に傾注していく必要があります。

※1 SDGz未来都市の実現

誰一人取り残さず、市民が本当に幸せだと思えるまちの実現

4. 櫛引地域の目指す方向性

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引地域における果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。また、農業体験など体験型観光の環境を整備し、都市部との交流人口の拡大を図るとともに、様々な地域資源を活かしながら、周辺地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活を送れる仕組みづくりを進めます。

5. 施策の基本方針と主な施策

基本方針 1 フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

櫛引地域の果樹生産の強みである多品目生産の特性を生かしたブランド化により、持続可能で経営力のある産地形成を目指すとともに、農業体験など体験型観光を推進し都市部との交流人口の拡大を図ります。また、出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、近隣地域との連携による広域観光圏の形成を推進していきます。

主な施策（1） 果樹生産基盤の強化

担い手の育成や農業経営体の組織化、農業者の意向の把握など、円滑な園地継承の仕組みを構築するとともに、各種助成事業を積極的に活用し、施設の整備やスマート農業技術の導入など、果樹生産基盤の整備を促進します。

① 担い手育成と樹園地の継承

●円滑な園地継承体制の構築

次世代を担う担い手への円滑な園地継承体制の構築に向け、果樹生産者の実態把握を行い、課題に基づく持続可能な園地継承の仕組み作りにつなげていきます。

●果樹産地を支える多様な担い手の確保

中核的な担い手の育成や確保に向け、法人化等の調査研究を行い、産地を牽引する経営体の育成を支援します。また、果樹生産を新たな就労の場として捉え雇用の創出につながる取組を推進します。

② 果樹生産基盤の整備促進

●スマート農業技術の導入など効率的な生産体制の強化

高齢化や兼業化に対応できる品目や省力化技術・機械導入への支援を行いつつ、スマート農業技術の導入など、効率的な生産体制の強化の取組を推進します。

●樹園地の利用集積への取組推進

樹園地集積による経営規模拡大や栽培放棄園地の発生防止に係る調査研究活動の取組を推進します。

●国・県事業の積極的活用

国の補助事業により、振興品目・品種への改植、新植やかん水施設（スプリンクラー）等の小規模基盤整備、県の補助事業によるさくらんぼ等の高生産性施設や補強型ハウス、作業機械等の整備に支援を行いつつ、高品質な果樹生産を推進し、収

量及び産出額の増大を目指します。また、収穫期の延伸・分散化の取組によって果樹産地の拡大・強化を図ります。

●安全・安心の果樹生産

J A、産直めぐり等を通して、引き続きトレーサビリティ（生産履歴）、ポジティブリスト（残留農薬に関する基準）、さらにはG A P（農業生産工程管理）等への対応を図り、果樹産地としての安全・安心の生産体系を構築し、T P P（環太平洋経済連携協定）や国際基準に対応した高品質な果樹生産への取組を推進します。

主な施策（2） フルーツの里ブランド化の推進

庄内地方で随一の多品目生産の果樹産地として、地域の持つ特徴を積極的にP Rするとともに、付加価値を高め6次産業化を推進し「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。

① フルーツの里ブランド化支援

S N S等を活用した積極的な情報発信、フルーツ関連イベントやプロモーション活動の実施、産直めぐり内に開設された観光果樹園紹介所と連携した果樹園の利用促進などを通して、「フルーツの里くしびき」のブランド化を推進します。

② 果樹加工品の開発・販売支援

県機関等の支援を得ながら、櫛引農工連、産直めぐり、生産者組織、企業等を通して果実加工品の商品開発、販売などの6次産業化の取組を支援し、関係者の所得向上や雇用の確保を目指します。

主な施策（3） 体験型観光産業の振興

観光果樹園や農家民宿、櫛引たらのきだ이스キー場、ふるさとむら宝谷など、地域の施設を最大限に活用し、体験型観光等による都市部との交流人口の拡大を図ります。

① 観光果樹園等農業体験型観光の推進

地域の新鮮なフルーツを楽しめる観光果樹園、農業体験のできるふるさとむら宝谷、農家民宿など、地域の施設を活用した農業体験型観光を推進し、交流人口の増加と地域活力の向上を図ります。

② 都市交流人口の拡大

神奈川県青木小学校との交流やJ A庄内たがわ青年部櫛引支部が実施している青木小学校での稲作出前授業、あおきふれあいまつりの交流支援を継続するとともに、これらの取組を足掛かりに都市部からの体験型観光客を積極的に受け入れ、交流人口の拡大を図ります。

③ スキー場・ふるさとむら宝谷等の体験型観光の充実

市街地からのアクセスが良くナイター設備がある櫛引たらのきだ이스キー場や、そば打ち体験ができるふるさとむら宝谷など、特色ある地域の施設を活用した体験型観光を推進します。

主な施策（４） 地域資源を活用した観光振興の強化

出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、櫛引、朝日及び黄金地域一体を鶴岡南部エリアと位置づけ、観光関係者相互の連携強化を促進します。また、それぞれが持つ地域資源の魅力度を高め、観光周遊ルートの形成や観光商品の開発、四季に応じた情報発信、デジタル技術の活用など、観光PRを強化し、インバウンドを含め観光客の増加に繋がります。

① 南部（櫛引・朝日・黄金）広域観光の推進

●鶴岡南部エリア観光周遊ルートの形成

櫛引・朝日・黄金地域などの近隣の観光協会等と連携し、近隣地域にある観光資源と連動した魅力ある鶴岡南部エリア観光周遊ルートの形成を目指します。ルートの設定に当たっては、モニターツアーやマーケティング調査により有効性や経済効果等を検証するほか、関係者によるワークショップの開催により現状や実態の把握に取り組みます。

●交通網の整備促進

各方面からのアクセスをより充実させ、快適で円滑な観光ルートを形成するため、県道たらのき代鶴岡線バイパス（外内島～我老林）の延伸整備や農免道路（黒川 2 期地区）の整備促進を山形県に対して要望していきます。

② 地域資源を活用した観光の推進

●櫛引パーキングエリアと連動した観光の推進

櫛引パーキングエリアの上り線は、駐車したまま観光果樹園を利用できるという立地特性を生かすことで、また、下り線は、連結する生き生きべんとう村のあやめの復活や自然体験フィールドとしての機能を向上させることで、利用者の拡大や利便性の向上、櫛引果樹の振興を図ります。

●横綱柏戸記念館

横綱柏戸記念館は、鶴岡市名誉市民で山形県民栄誉賞第 1 号受賞者でもある大相撲第 47 代横綱柏戸・鏡山親方に関する資料や旧鏡山部屋の稽古土俵と上がり座敷をそのまま移築した、今ではすっかり姿を消した伝統様式の相撲部屋を展示した貴重な施設です。本館を活用し、官民が連携して相撲大会や関連イベントなどを実施することにより来館者の増加を図り、地域振興や観光振興を推進します。

●櫛引赤川エリア（総合運動公園、馬渡の桜並木）

櫛引総合運動公園と櫛引赤川河川緑地は、野球場、サッカー場、グラウンドゴルフ場、なべっこ広場や遊具等が整備されており、地域内外から多くの利用者が訪れます。今後は、赤川かわまちづくり計画の位置付けの中で、スポーツや子育てが一体となった櫛引地域のいこいの親水空間となるよう、魅力を高めていきます。

また、本市の桜名所となっている赤川右岸の馬渡の桜並木については、一部が樹齢70年以上となっているため、老木化や病虫害の対策を図りながら、観光名所として保全していきます。

●地域資源活用の推進

櫛引地域には、黒川能、丸岡城跡史跡公園や観光果樹園などの多様な観光資源や、黒川能の行事食であるしみ豆腐、在来作物の宝谷カブなどの豊富な食文化がありますが、ほかにも身近な資源が数多くあります。それらの特色を組み合わせた魅力的な観光手法（※1 地域ストーリー）を作成し、連携を図りながら交流人口の増加を目指します。

※1【参考】地域ストーリー

地域ストーリーとは、地域の自然・文化・生活・産業が持つ独自のストーリーを見つけ出し、顧客にとって経験可能なものへと具体化させ、そこで生まれた十人十色の感動を新たなストーリーとして紡ぐというプロセスを辿りながら、地域と都市の人々の共創が生み出す持続可能な「循環」です。【経済産業省 HP】

【櫛引地域の主な観光資源】

分野	観光資源
伝統芸能・歴史関係	黒川能、春日神社、黒川能の里王祇会館、丸岡城跡史跡公園、天澤寺、虚籟庵と綴れ織り、吉祥寺
自然・観光関係	観光果樹園、産直めぐり、横綱柏戸記念館、馬渡川桜並木とやすらぎ公園、農家民宿、櫛引パーキングエリア地域拠点施設、生き生きべんとう村、かじかの里、櫛引たらのきだ이스キー場、ふるさとむら宝谷
その他	くしびき温泉ゆーTown、六十里越街道、空にかける階段パブリックアート、希少淡水魚イバラトミヨ

【櫛引地域の主な食文化】

分野	食文化
伝統食関係	黒川能の行事食しみ豆腐、在来作物の宝谷カブ
その他	多品目フルーツ、そば品種でわ宝

③ インバウンド観光の推進

官民連携のもと、黒川能の鑑賞や実践、櫛引たらのきだいスキー場での雪とのふれあい、ふるさとむら宝谷でのそば打ち体験など、地域の伝統文化や施設等を活用した体験型のインバウンド観光を推進します。また、インバウンド向けの情報発信を強化することともに無線インターネットの整備や多言語対応の充実など、インバウンドに優しい環境の整備を図ります。

基本方針 2 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。

また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

主な施策（1） 民俗芸能の継続支援

黒川能保存伝承研究会※2 などの開催により黒川能の魅力を伝え、映像や音源の保存記録を活用した伝承支援や後継者育成支援を継続するとともに、文化的価値の情報発信を推進します。

また、天狗舞獅子舞などの民俗芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、民俗芸能の継承活動を支援します。

※2【参考】黒川能保存伝承研究会

識見者による黒川能の歴史や行事食の可能性などを学習する機会とし、理解を深める取り組みを広げ、具体的な活性化の実践につなげることを目的とする、公益財団法人黒川能保存会主催事業。

① 黒川能の後継者育成

櫛引東小学校児童への仕舞指導の支援や発表機会の提供を通して、各世代における郷土の伝統芸能に対する理解や郷土愛を育くみながら、次世代後継者を育成する取り組みを一層推進します。

② 黒川能の保存伝承支援

無形文化遺産に造詣の深い識見者による講演や実演、デジタルアーカイブを素材としたプロモーションなど、能を通じた人的交流やマーケティングの拡大によって黒川能の価値認識を深め、幅広く地域住民各層の関わりを強めること等により、黒川能の保存伝承に対する機運の醸成を図ります。

③ 各地区の伝統芸能の保存伝承支援

伝統芸能保存会同志が集まり交流や発表する機会を設け、保存伝承に向けた意識の醸成を図るとともに後継者の育成や協力体制の強化を推進します。

また、各地区の伝統芸能保存会の実態を把握し、保存伝承にかかる課題を明らかにす

るとともに、その解決に向けた支援を行います。

④ 黒川能の記録保存と活用

黒川能の映像や音声データをデジタル記録として保存し、伝承支援や後継者育成支援に活用していきます。

また、対外的にデジタル化したDVDやCDの貸し出しやネット配信等により、黒川能の魅力を伝えるとともに、能面や装束等の写真や解説を掲載した「黒川能面装束図譜」などを通して、有形無形両面における歴史文化の資源価値を積極的に情報発信します。

主な施策（２） 歴史文化の活用推進、観光連携

丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を、指定管理者やガイドの会など関係団体と一緒に進め、デジタル技術等を活用した地域の歴史文化の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

① 文化的・歴史的価値の理解促進

歴史文化施設を拠点として、伝統文化を「観る」だけでなく、能面・装束や甲冑等の着付け「体験」を通じて、地域の伝統を体感できる場を提供するとともに、貴重な出土品や歴史的資料等の展示を充実させ、歴史的な背景や文化的な意義を学ぶ機会を提供することで、観光客だけでなく地域住民に対しても歴史や文化的価値の理解促進を図ります。

② 歴史文化施設（王祇会館・丸岡城跡史跡公園等）の観光連携

地域資源を活用した観光振興と連携することで、誘客力の向上を図るとともに、多言語による案内表示等の整備やガイドランスのデジタル化など、インバウンドを含む観光客へのサービス性向上を推進します。

また、歴史文化施設を活かした体験メニューやお土産品等の開発を支援し、生産性の向上及び地域の活性化を図ります。

基本方針 3 コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティの設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、明るく元気なまちづくりを推進します。

主な施策（１） 活力と持続性のあるコミュニティの推進

地域コミュニティ活性化推進のための広域コミュニティの設置検討や、防災連携、生涯学習の推進を図り、また、ケーブルテレビを活用した情報発信と地域づくりの推進など、活力と持続性のあるコミュニティづくりを進めます。

① 広域コミュニティ組織の形成と自治会支援

単位自治組織を越えた協力体制で生涯学習や防災・福祉等の地域課題を円滑に取り組むため、地域住民の意見を取り入れながら自治組織等の機能の補完や負担の軽減を図る広域コミュニティ形成に向けた検討を進めます。

このうち、生涯学習については、地域住民のニーズに応える「趣味の講座」や「主催事業」等の実施を推進するとともに、活動拠点となる櫛引生涯学習センターを安全・安心に利用できるよう維持管理等環境整備を図ります。

防災については、円滑に避難所開設・運営を行うため、小学校区単位での広域自主防災組織を構築し、地域との話し合いや避難所開設・運営の実技研修等を通して、地域の実態に即した計画づくりを支援していきます。

また、広域コミュニティ組織の形成を見据え、単位自治組織の将来の目指す姿とその実現に向けた取り組みを定める「地域ビジョン」の策定を支援します。

② KCTなどによる地域情報の発信

櫛引・朝日地域をエリアとする鶴岡市ケーブルテレビジョンについては、市政や地域情報、防災情報の映像又は音声広報として、地域住民に対して情報発信を行っていきます。放送内容については、放送番組審議会による番組制作の検証を行い、住民が行政に関心を持ち、積極的にまちづくりに参画してもらえるよう、効果的な番組づくりに努めていきます。

今後、市のホームページやSNS等による情報発信と連携についても、対応可能な取組の実施について検討を行っていきます。

主な施策（2） 協働のまちづくりと地域の賑わいの創出

花いっぱい運動やくしびきこしゃってプロジェクトなど、若者や地域住民による取組を支援し、協働のまちづくりと地域のにぎわい創出を促進します。

① 若者が活躍できる場の創出

くしびきこしゃってプロジェクトが開催している「こしゃってマルシェ」を支援し、地域に賑わいを創出していくとともに、くしびき若者未来創造事業の実施によって、地域活性化への提言や、若手世代の交流促進に努めます。

② 地域住民参加型による取組

地域住民参加型で継続されてきた、市推奨花(旧櫛引町の花)サルビアの植栽事業である「花いっぱい運動」や県の絶滅危惧種に指定されている「イバラトミヨ」の保全活動など、地域の活動団体と小中学生と一緒に取り組む多世代交流のコミュニティ活動と位置づけ、環境を守り住みよい特色あるまちづくりを目指して支援していきます。

また、地域資源等を活かした新規イベントの立ち上げを支援するとともに、市や地元組織等で開催している多彩な既存イベントについて、タイアップやリニューアルなど今後の

開催のあり方の検討を支援していきます。

主な施策（３） 高齢者等の交通環境の支援

スクールバス住民混乗利用を継続するとともに、現在実証実験事業として実施しているデマンド交通の確立を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を推進します。

① スクールバス住民混乗利用の継続

スクールバスの住民利用混乗利用を継続していくと共に、利用実態の調査分析や、今後の需要、要望を踏まえたうえで、適切なサービス提供のあり方について検討します。

② デマンド交通の推進

実証実験運行を実施しているデマンド交通は、令和6年11月の本運行移行に向けて、地域住民組織、関係団体との緊密な連携の基に運行内容の検証・改善を重ね、交通弱者の生活支援としての新たな公共交通制度を確立します。

主な施策（４） 健康で安全・安心なまちづくりの推進

交通安全対策や防犯活動と、青少年の健全育成や家庭教育を推進するとともに、くしびき温泉ゆ〜Townを核とした健康増進、住民同士の語らいや交流活動の取組を促進することで、明るく健康で生きがいのある地域づくりを推進します。

① 交通安全・防犯対策の推進

櫛引地域に根付いている毎月1日の交通安全・防犯の日啓発事業を今後も継続し、櫛引地域の交通安全運動を推進するとともに、青パト活動等地域が独自に行う防犯活動の取り組みを支援します。

② 明るく健やかな地域づくりの推進

●家庭教育と青少年教育の推進

家庭教育の一環として、櫛引地域の幼児と保護者を対象に実施している「人形劇」や青少年教育の一環として実施している「櫛引地域子ども会育成会連合会」による実技研修会やリーダー研修会等、櫛引地域独自の子育て支援の取り組みを推進して行きます。

●くしびき温泉ゆ〜Town

地元の温泉施設であるくしびき温泉ゆ〜Townでフレイル予防事業を行うことで、地元住民の健康増進を図り、明るく健康で暮らしやすい地域づくりを推進します。

また、交流拡大による地域の活性化を図るため、令和4年度に作成したオリジナルキャラクターゆ〜たんを活用した親しみやすい情報発信に取り組みます。

●健康な生活の推進

健康寿命の延伸に向け、各地区の保健福祉推進員や食生活改善推進員と連携しながら、各地区健康教室や健康と福祉のつどい等を開催し、がん検診や健診の受診率の向上、生活習慣病予防の啓発に取り組みます。

●高齢者の健康維持と交流・支え合いの促進

介護予防事業を継続して実施するとともに、閉じこもりや認知症の予防、また見守りの観点からも高齢者同士の交流や語らいの場について、広域化多様化を視野にいれ活動の拠点づくりに取り組みます。

●高齢者の安全・安心な暮らしを支える取組み

区長、民生児童委員、保健福祉推進員、櫛引福祉センター等関係機関と連携し、「災害時避難行動要支援者個別計画」の更新や「くしびき安心カード」の更なる普及に向けた取り組みを推進します。

[参考資料]

- 施策のイメージや体系図
- 写真や図
- 統計データ

◆ 基本データ

- ・これまでの計画での参考資料第1面に記載していた事項
- ・年齢別人口や人口動態(自然動態、社会動態)、出生数や婚姻数の推移
- ・高齢化率の推移
- ・その他

◆ 各課にて重要と思われるデータ 等

- ・地域内の小学校区別データ(人口動態や世帯の累計、高齢化率など)
- ・産業別就業者数の推移
- ・観光入込者数